

学校支援ボランティアに支えられた やきいも・長なわとび大会

- 子どもたちが待ちに待った児童集会「やきいも・長なわ大会」。朝早くから、学校支援ボランティア6名の方による協力のもと、高学年児童による熾火（おきび）作りからスタートしました。
- やきいもを上手に作るには、様々なコツを要しますが、10年以上も続いている行事だけあって、地域の方々のスキルやノウハウはお見事の一言でした。まさに、「地域」に支えられて成り立っている伝統行事であることを再認識しました。
- さつまいもが焼けるまでの間は、高学年児童が中心となり、児童主体で過ごす時間です。学年対抗の八の字跳びや縦割り班による団体跳びに、どの学年の子も一生懸命に取り組み、寒さを吹きとばすような熱気でした。また、その様子を優しく見守る地域の方や先生方の表情が印象的でした。
- 長なわとびの後は、グループごとに集まり、みんな「ホクホク顔」で美味しくいただきました。最後は、お世話になったボランティアの皆さんへしっかりと御礼の挨拶をして終了しました。



完璧な熾火（おきび）



さらに落ち葉焚き



学校支援ボランティアの皆様



縦割り班による団体跳び



甘くて美味しいね

【学校の声】

地域コーディネーターが、毎週水曜日の午前中に学校に来てくださり、その都度、学校からのお願いなどを手際よく処理してくださるので大変助かっています。

その他にも、新体カテストボランティア、校外学習引率ボランティア、家庭科実習ボランティアなど、様々な分野にわたり、各種ボランティアの方々が積極的に子どもたちを支援してくださっています。

【地域協議会の声】

地域協議会活動を通して、日々、子どもたちの成長に関わることができることに幸せを感じています。また、地域コーディネーターとしては、様々な学校行事に全力で支援してくださるボランティアの皆様から感謝しています。

今後も、学校を応援し続け、自分たちができることを実行していきたいです。

【いいね！】

昨今は、子どもだけでなく、「親世代」も自然体験不足という現状がある中、こうした取組は貴重な機会であり、まさに地域が学校・家庭をバックアップしている好事例である。

児童集会の様子からは小規模校ならではのアットホームな雰囲気伝わってきた。

